

平成22(2010)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題 (A方式)

(科目名) 憲法 (第1問)
1987年最高裁判決は、共有林の分割請求を持分が2分の1以下の持分権者に対して
否定している森林法186条の規定を、違憲とした。この判決が持つ意義を、以下の
2点について論ぜよ。
① 経済的自由の規制立法に対する司法審査の緩厳。
② 憲法29条の解釈論。

平成22（2010）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（A方式）

憲法・第2問 20××年の参議院議員選挙の結果、現与党であるA党の議席は121、前年の衆議院議員選挙で大敗して野党になったB党の議席は117、別の野党であるC党の議席は4（合計242）であった。選挙から約3ヶ月後のある日、B党の有力議員Xの働きかけに応じて、当該参議院議員選挙におけるA党の比例代表選出議員であるY・Z議員ら7名は、A党を離脱し、Y議員ら5名がB党に移籍し、Z議員ら2名がC党に移籍した。この結果、参議院の議席は、A党114、B党122、C党6となり、B党が参議院で第1党となり単独で過半数を占めることになった。（A・B・C党はいずれも当該参議院議員選挙における「参議院名簿届出政党」である）。この場合に、Y・Z議員らの移籍は認められるか。現行法上、Y・Z議員らの処遇についてどのように定められているかを明らかにしたうえで、この問題の背後にある憲法論を、基本原理（主権原理・代表制原理など）にさかのぼって論じなさい。